

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人たんぽぽ福祉会)
 事業所名 (地域密着型特別養護老人ホームたんぽぽ鶴の里)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベット株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月9日	3台	平成30年9月25日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

平成30年10月9日のパラマウントベット株式会社 担当者からの説明を受け、運用を開始。導入補助いただいた3台を当初、昼夜逆転などで夜間に動きのあるご利用者に使用。現在は、入居初期の方への利用による行動パターンの確認。夜間多動の方への見守り補助として利用している。

【介護ロボットの導入効果】

夜間の行動パターンの把握について

24時間シートも含め、24時間での行動把握は業務上必要であり以前より取り組んではきたが、ユニット型特養の夜間配置では、同じ職員が連続する夜勤をするわけではなく、かつ他利用者への介助等の際には、他の利用者の行動把握が困難であった。

眠りSCANの導入により、職員個々の力量や捉え方でなく数値などデータで把握できる上、ユニット会議や担当者会議など様々な場所で検討しやすい。

行動を把握することで、医師をはじめとする多職種との連携により対応方法を考えられ、結果落ち着いた夜間時間を過ごされるご利用者が増えることで、職員の負担が大きく緩和された。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人たんぼ福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホームたんぼ加茂の里)

サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H31年 3月 5日	10台	H30年 9月 10日	年 月 日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】 特養入居者の比較的体動の多い利用者に使用(1ユニット1名に1台)10ユニット 使用状況 <ol style="list-style-type: none"> 1. 目の行き届いた見守り・タイムリーなケア ベット上の入居者の状態をリアルタイムでモニターリングを行い、入居者の状態(睡眠・覚醒・起き上がり・離床)の変化時や呼吸数の大幅な変動時にパソコンに通知する。 2. 変動時の記録をもとに個別ケア・ご家族やスタッフなどと共有する。 3. 生活状況が見える化し、サービスの質の改善や体調変化を観察 			
【介護ロボットの導入効果】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 入居者の見守り 居室での「睡眠・覚醒・起き上がり・離床」が分かるので、スタッフの少ない夜間も、入居者の状況に合わせた介護できる。 2. 入居者の生活や行動に合わせた介護 目が覚めているときに介護することで、介護の優先順位づけ、入居者の安心・安全・満足度の向上に繋がっている。 3. スタッフの労働環境の改善 居室での状況が見える化されることで、スタッフの精神的負担が減り、効率的な業務になっている。 4. 生活状況の見える化 睡眠状況・生活習慣が確認でき睡眠日誌が管理できている。 5. 関係者との情報共有 ご家族や施設CMへの報告、スタッフ間での情報共有、また睡眠導入剤を投与した効果検証などに役立っている。 6. 生活状況の見える化により、サービスの改善や体調変化の気づきができた。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)

事業所名 (明範荘特別養護老人ホーム)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年 10月 1日	3台	30年 10月 1日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

以前購入した同機器とともに、各ブロックに5台ずつ配置して、各ユニットの記録ツールであるiPadや各ブロックのステーションにあるパソコンで本器を使用している対象者の状況や睡眠と覚醒のデータ等が確認できるようになっている。

夜間不眠の傾向が顕著な方等の睡眠と覚醒のリズムをしっかりと把握することが必要な方に主に使用している。

また、看取り期に入られている入居者に対しても、ご家族に適正な情報提供を行う観点から適宜活用している。

【介護ロボットの導入効果】

Wifiを通じて対象者の睡眠と覚醒のリズムの状況が、iPadやパソコン内にデータとして保存される。そのデータは対象者の状況を一日単位ではなく、1週間、1カ月単位で比較ができるため、対象者の習慣的な生活リズムの把握に役立っている。その把握したデータは、適切なケアの展開につなげやすいため、対象者の昼夜逆転のリズムの解消への働きかけや夜間不眠後の歩行不安定な対象者に対するリスクマネジメントなど、導入前よりも本器で取得したデータという明確な根拠に基づいた適切なケアにつなげることができている。

また、看取り期の入居者に対する活用では、本器で心拍数や呼吸数を把握できる機能などを存分に活用し、看取り期のカンファレンス等で、ご家族に対して、適切かつ詳細な対象者情報の提供が可能となっている。対象者が現在どのような状態にあるかをタイムリー、かつ的確に把握できるため、ご家族や職員が、今後どのように対応していけば良いのかを、的確に認識ができることにつながっている。

看取り期の方の状況をデータでしっかりと把握することは、まだ大丈夫という状況の職員の精神的な安心感や、いよいよ対象者が看取りの最終段階にいる場合の夜勤に入る際の心の持ち方にもある程度の影響があるようにも思える。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)

事業所名 (明範荘短期入所生活介護)

サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年 10月 1日	1台	30年 10月 1日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

以前購入した同機器とともに、各ブロックに5台ずつ配置して、各ユニットの記録ツールであるiPadや各ブロックのステーションにあるパソコンで本器を使用している対象者の状況や睡眠と覚醒のデータ等が確認できるようになっている。

夜間不眠の傾向が顕著な方等の睡眠と覚醒のリズムをしっかりと把握することが必要な方に主に使用している。

特に認知症の症状などで昼夜逆転傾向が強い方や、夜間覚醒にによるリスクが高い方などの在宅で対象者を支えているご家族が対応に苦慮しているケースのご利用者に活用している。

【介護ロボットの導入効果】

Wifiを通じて対象者の睡眠と覚醒のリズムの状況が、iPadやパソコン内にデータとして保存される。そのデータは対象者の状況を一日単位ではなく、1週間、1カ月単位で比較ができるため、対象者の習慣的な生活リズムの把握に役立っている。その把握したデータは、適切なケアの展開につなげやすいため、対象者の昼夜逆転のリズムの解消への働きかけや夜間不眠後の歩行不安定な対象者に対するリスクマネジメントなど、導入前よりも本器で取得したデータという明確な根拠に基づいた適切なケアにつなげることができている。

特に認知症の症状などで昼夜逆転傾向が顕著なショートステイご利用者の生活リズム把握のツールとして活用することで、在宅で当該利用者を支えるご家族に施設における生活リズムを適切に伝えることができる。そのデータをサービス担当者会議等で、他事業所と情報の共有をすることができれば、対象者本人にとって快適な生活を営むためのケアのアプローチを共同で臨むことができ、また対象者を在宅で支えるご家族の負担軽減を図ることも可能と考える。

定期的にショートステイをご利用されるご利用者については、当該介護ロボットを継続的な活用ができるため、生活リズムが把握しやすく、そのリズムが分かることで、介護職員の的確なケアの提供につながり、導入前よりも介護職員の身体的、精神的負担軽減につながっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人ケアマキス)
 事業所名 (ショートステイケアマキス柴田)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		眠り scan	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年10月24日	1	30年10月5日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

面談や過去の利用歴から使用の可否を検討後、本人または家族同意を得た上で、利用者の居室に利用期間中設置をしている。使用期間は利用者1名につき3日～7日。利用後にデータをプリントして本人または家族に渡している。

夜間の睡眠状態をモニタリングし、利用者の覚醒状態に合わせ巡視をするなど、介護業務に反映させている。

【介護ロボットの導入効果】

- ・ 定時巡視を覚醒の確認をしてから巡視に変更することで、睡眠を妨げることが減少した。
- ・ 夜間帯に覚醒している利用者の睡眠状況をタブレットを使って確認することで、訪室しなくても見守りが可能になった。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームコムネックスみづほ)
 サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		眠り SCAN	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
年 月 日	4	平成 30 年 9 月 27 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>新規の入居者、行動障害の著名な入居者、終末期ケアの入居者に使用。ベッドマットの下に敷き、24時間ユニットのパソコン画面、iPad画面にデータを受信。行動障害の著名な入居者の場合は主に夜間帯、新規入居者・終末期ケアの入居者の場合は終日使用。睡眠、呼吸、心拍動作状況のリアルモニタリングを実施、継続。毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化、新規入居者の行動把握、終末期ケアの身体状況の把握により異常の早期発見が可能になっている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>モニタリングされた入所者の睡眠、呼吸、心拍、体動データの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、行動障害の著名な入居者に対しても根拠を立てたケアの提供が可能となってきた。データ分析から日中の活動への新たなアプローチ方法が見直しされ、行動障害の軽減も見受けられる。新規入居者も入所前のアセスメントでは把握しにくい細かな情報まで読み取れることで少しでも今までの生活パターンに近づけたケアの実現が可能になってきている。終末期ケアでは変化しやすい入居者の身体状況がリアルタイムで確認できることで、介護従事者の見守りに対する不安軽減につながっている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 来光会)
 事業所名 (介護老人福祉施設いわと)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		メーティスPRO (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年11月16日	1台	平成30年11月16日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>導入日よりその時点でベッドからの立ち上がりなどで転落、転倒の危険がある方を1名ピックアップして使用。その方の状態が落ち着いたり、より見守りセンサーが必要な方がいたら使用する方を変更して使用。</p> <p>特に夜間のベッドからの転落、転倒と見守りの効率化を目指す。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>今まではベッドからの転落、立ち上がりの転倒、ずり落ちの可能性のある方にはセンサーマットを床において主に対応していました。踏まないとナースコールが鳴らないので、コールが鳴って駆け付けても、すでに立ち上がって歩いていたたり、転倒・転落していたりという場合も多かった。また、センサーマットによっては踏んでも反応をしなかったり、センサーマットを避けて立ち上がる方もいた。</p> <p>今回CATCHⅢの設定を起き上がりにセットして使用。起き上がって立ち上がるまでに時間ができたので、職員もベッドから立ち上がるまでの間に訪室できるようになり、転倒・転落などの事故が減少しました。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 長福会)
 事業所名 (デイパーク大府大府短期入所事業所)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H30年11月26日	2台	H30年11月26日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】 見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) をデイパーク大府短期入所事業所の居室に配置し、自分でナースコールを押せない方や認知症等で無理な離床行為をされる方のベッドとして利用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】 見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) を導入利用することで、急な体動やご自分での無理な離床行為が事前にわかり、事故防止や職員の見守りに対する業務負担の軽減につながり、職員の精神的身体的ストレスの軽減につながっている。また緊急入所の方など、状態把握にも役に立っている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 長福会)
 事業所名 (第一老人デイサービスセンターデイパーク大府)
 サービス種別 (通所介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H30年10月25日	2台	H30年10月25日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】 見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) を第一老人デイサービスセンターデイパーク大府のデイサービス静養室に配置し、長時間座位の維持が困難な方や体調の悪い方などの静養ベットとしてほとんど毎日利用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】 見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) を導入利用することで、体調が悪い方の静養や休憩用のベットとして利用でき、急な体動やご自分での無理な離床行為が事前にわかり、事故防止や職員の見守りに対する業務負担の軽減につながり、職員の精神的身体的ストレスの軽減につながっている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 長福会)
 事業所名 (第二老人デイサービスセンターデイパーク大府)
 サービス種別 (通所介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H30年9月28日	2台	H30年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】 見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) を第二老人デイサービスセンターデイパーク大府のデイサービス静養室に配置し、長時間座位の維持が困難な方や体調の悪い方などの静養ベットとしてほとんど毎日利用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】 見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) を導入利用することで、体調が悪い方の静養や休憩用のベットとして利用でき、急な体動やご自分での無理な離床行為が事前にわかり、事故防止や職員の見守りに対する業務負担の軽減につながり、職員の精神的身体的ストレスの軽減につながっている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人昭徳会)

事業所名 (特別養護老人ホーム安立荘)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り・コミュニケーション		エスパシア (離床センサーCATCHⅢ搭載電動ベッド)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年 10月 26日	8台	30年 10月 26日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

ベッドの更新も併せて、以下の入居者の方を対象に使用している。

- ・認知症が重度で歩行のふらつきが時々見られる方
- ・夜間帯に比較的頻回に、ベッド脇のポータブルトイレを利用される方やトイレのために起きられる方

センサーの段階は、全て「起き上がり」(最も早い段階でコールが鳴る)で反応するように設定した。

【介護ロボットの導入効果】

- ・転倒や転落のリスクがある入居者の方が増加傾向にあり、センサー設備の絶対数が不足しつつあったが、その方々全てに使用できるようになった。職員の精神的負担軽減になった。
- ・職員がこまめな訪室(巡回)をしていたが、機器の導入により過度な訪室が減り、身体的負担軽減になった。
- ・今までの床設置センサーマットでは転倒リスクのある方も歩行してから駆け付けていたが、機器の導入により立ち上がりなどの早い段階で駆け付けられるようになり転倒リスク軽減になった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人愛生館)

事業所名 (老人保健施設ひまわり)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 9 月 25 日	4	平成 30 年 9 月 25 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>入所者対象として、4ユニットに各1台ずつ配置している（平成29年度購入分をあわせると4ユニットに各2台ずつ配置）</p> <p>①看取りとなった利用者のバイタル等の状態の把握</p> <p>②夜間不穏行動がある入所者の睡眠・覚醒・離床等の状態把握</p> <p>③夜間の排泄パターンの把握</p> <p>④夜間等の転倒転落のリスクが高い入所者の事故防止</p> <p>主に上記4つの目的で活用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>①看取り利用者に使用、呼吸数減少時の把握ができ家族へ速やかに連絡し家族に見守られながら最期を看取ることができた。</p> <p>②眠りの深さ、眠りの時間、パターンの把握ができ、次のアプローチの材料（薬の調整・介護ケアの対応）になる。</p> <p>③離床検知システムを活用することで、排泄パターンが把握でき、排泄支援の評価に役立った。</p> <p>④ベッドからの離床が分かり、転倒・転落事故が未然に防げた。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 清明福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 建国ビハーラ)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りベッド		見守りケアシステム M2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 11 月 26 日	4 台	平成 30 年 11 月 26 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>・ベッドからの転倒、転落リスクが高い方を中心にセンサーベッドを使用し、転倒、転落予防に努めている。</p> <p>1. センサーベッド使用者の選定。 (ベッドからの転落、転倒リスクが高い方を対象に使用。)</p> <p>2. センサーベッド使用者の導入後の評価と会議を実施。</p> <p>3. 転倒、転落リスクが高い方を再検証し、必要であればベッド変更を実施。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>・センサーマットはマット部分を踏まないでセンサーが反応せず、転倒を予防出来なかった事例があったが、センサーベッドでは体動でセンサーが感知する為、転倒、転落予防が出来ている。その方の状態に合わせてセンサーベッド、センサーマットを使い分け、事故防止に努めている。</p> <p>・ベッドからの転倒、転落リスクが高い方にセンサーベッドを導入しているが、導入前後を比較するとベッドからの転倒、転落事故は減少している。</p> <p>・各入所者の動きに合わせて通知モードを設定(動き出し、起き上がり、端座位等)している為、状況が把握しやすく夜間等、職員が少ない時間帯で職員の精神的負担が少し減少している。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書（その1）

法人名 （社会福祉法人カリヨン福祉会 ）
 事業所名 （特別養護老人ホームカリヨンの郷）
 サービス種別 （介護老人福祉施設 ）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りケアシステムM2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月26日	2台	平成30年10月26日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ロボット型ベッドの使用効果についての表を作成、センサー効果・改善（誤報の有無）夜間の転倒リスクの軽減・利用者の状況把握に関する事を、毎日チェック表に記録している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>見守りケアシステムM2は、機能性が進化したベッド型ロボットとして導入し、例えば頻回に離床する利用者の行動を自動感知システムが段階的に反応、センサーコールにつなげることで転倒等のリスク軽減に寄与している。また、ベッド移動等でいったん電源コードを抜いても、再度電源を入れれば自動的に前回の設定が再開され、職員の負担は軽減されている。液晶パネルはカラーで見やすく操作も簡単であることから、新規採用職員への操作指導も適正に実施することができる。利用者の体重管理も概ねシステムと連動できているので、栄養管理面での配慮につなげることも可能である。見守りケアシステムにはパソコン端末に連動する事で、ベッド上での動きを瞬時に知る機能も備えられており、さらに機能性を活用できるよう検討を進めていく。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 みどりの里)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 豊水園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
ベッド内蔵型見守りロボット		見守りケアシステム M2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H30年 10月 23日	2台	H30年 10月 23日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

各フロアー1台ずつ特定利用者に使用する。ベッド上での体動が多く、立ち上がりまでが早く転倒リスクの高い方を対象とする。
 利用者の状況に合わせて長座位時センサー、端座位センサーに設定し使用する。

【介護ロボットの導入効果】

ベッド上で長座位になることでセンサーが反応するように設定できるので設置型のセンサーコールに比べて体動のみの誤報が少なくストレスなく使用することができている。
 立ち上がる前にセンサーが反応することで早めの訪室、対応ができ、安全に移動介助を行うことができている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 名古屋ライトハウス)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 瀬古第一マザー園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシアシリーズベッド(KA-N 1710F) (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 10 月 25 日	6	平成 30 年 10 月 25 日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ① 立位が不安定でベッドからの転落事故の多い利用者様に使用。導入まではセンサーマット(床センサー)を使用していた。
- ② 重度の認知症があり、ナースコールを押すことができない利用者様に使用。

【介護ロボットの導入効果】

- ・ナースコールと連動しており、利用者様の体動や動作を検知して寮母室に通知されるため、ベッドから降りようとされるタイミングで訪室することができるようになり、転落事故が減少した。
- ・夜間、他の利用者様の居室に入ってケアをしている間、フロアー内の見守りが手薄になっており、転倒事故を未然に防ぐことができなかつたが、ナースコールが鳴ることによって、夜勤職員 3 名のうちの誰かが駆け付けられるようになった。
- ・利用者個々の状態に合わせてセンサーが反応するタイミングを設定することができるようになったため、誤作動で職員が訪室する回数が減少し、夜勤者の精神的苦痛の軽減につながっている。
- ・事故を未然に防ぐことができるようになったことで、病院への受診の付き添い等の対応も減少し、結果として業務軽減に繋がった。
- ・センサーが反応することで、素早く利用者様の動きを検知することができ、結果として夜間の利用者様の失禁も減少した。その分、清拭や着替えのケアに割かれる時間も減り、職員の夜勤業務の負担軽減に繋がっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 王寿會)

事業所名 (特別養護老人ホーム幸王寿園)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成 30 年 11 月 1 日	3 台	平成 30 年 10 月 31 日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入初日より 3 名の方に使用。 睡眠状況把握が行えた方から順次違う方の使用に変更を行っている。 11 名の方の睡眠傾向について把握が行えている。 看取り期の方に使用して睡眠・脈拍・覚醒の把握・ご家族様への状態説明に使用している。 				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠状況の把握を行う事により、トイレ誘導や巡回を必要時に必要な回数を行う事に繋がっており転倒・転落のリスク軽減が出来ている。 夜間の睡眠状況が良くない方には日中の安静時間調整の目安にもなり、体調を崩されることが減少しており、介護負担軽減に繋がっている。 看取り期の状態が数値やグラフで把握できるため、介護士の精神的不安軽減に繋がっている。 QOL 向上に繋がっている。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 王寿會)
 事業所名 (グループホーム あおぞら)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 11 月 1 日	2 台	平成 30 年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入初日より 2 名の方に使用。 3 月には他の方 2 名に使用を変更して睡眠状況の把握を行っている。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間不眠傾向の方に使用を行い、睡眠状況の把握を行い、巡回やトイレ誘導時間の変更を行うと不眠が改善され転倒や転落のリスクが低下、また日中の覚醒時間が増加して排泄や入浴時の誘導がスムーズに行える回数が増加しており介護負担軽減に繋がっている。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人瀬戸中央会)
 事業所名 (特別養護老人ホームつばき)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りロボット		aams 介護	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 11 月 9 日	2 台	平成 30 年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回、導入した 2 台の aams は、常に稼動しており、ベッドよりの転落・転倒防止に使用している。 ・現在、入居者様の中に看取りの方が見えないため、心拍チェックとしての使用頻度は低い。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入後、ベッドよりの転落・転倒事故の発生はない。 体動（離床）を感知することで、事故を未然に防ぐことができている。 夜勤帯の介護職員の負担の軽減を図れている。 ・睡眠状態の確認が可能になった。 昼間・夜間ベッド上での睡眠状態のチェックが出来るようになった。 波形グラフで睡眠状態の確認ができ、看護師不在の夜間帯の健康状態が確認できるようになっている。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人葆光会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム藤美苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りケアシステム M2 (FBR-N135W1/M2) フランスベッド	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H30年10月24日	8台	H30年10月24日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>当苑ではこれまでベッド上センサーと床マットセンサーを使用してきたが、今回の介護ロボットには4つのモード(動き出し、起き上がり、端座位、離床)が搭載されていた為、利用者様のADLに合わせて8人の利用者様を対象に常時使用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで床マットセンサーを使用していた利用者様は、センサー作動時にはすでに床マットに足を付けている状態だった為転倒リスクが高かった。起き上がりモードを使用する事により職員がいち早く対応できる為、利用者の安全確保が以前より確実に出来るようになった。 ベッド上センサーを使用していた利用者様に関してはこれまでは誤作動も多く、職員が訪室することによって利用者様が覚醒してしまい持続睡眠の妨げになることも多かった。また、利用者様のトイレ希望等にも早く対応できるようになった。 職員の過度な訪室や見守りが減少し精神的負担が減った。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 鉄友会)

事業所名 (介護老人保健施設さくら大樹)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日		リースの契約期間
30年12月6日	6	30年 9月 12日		年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症を含む疾患により転倒及び転落リスクの高い方 ・終末期により、常時観察が必要となった方 ・新規入所等で睡眠リズムが把握できない方などを中心に運用を開始。 <p>利用者のケアプラン立案の参考の一つとして、眠りSCANから得られた睡眠データを活用している。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の睡眠リズムを把握することで、入眠への促し方、睡眠が浅い方には日中の活動強度を高める支援を検討するようになった。 ・終末期の方など常時監視が必要な方でも、呼吸や心拍数をリアルタイムに確認することが出来るため、職員に安心感を与えることができた。 ・ベッド上での覚醒時でもアラートを設定できるため、転倒や転落リスクが高い方には非常に効果が高く、当施設でのリスクマネジメントに有効であった 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 鉄友会)

事業所名 (介護老人保健施設さくらの里)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日		リースの契約期間
30年10月16日	10	30年 9月 12日		年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症を含む疾患により転倒及び転落リスクの高い方 ・終末期により、常時観察が必要となった方 ・新規入所等で睡眠リズムが把握できない方などを中心に運用を開始。 <p>利用者のケアプラン立案の参考の一つとして、眠りSCANから得られた睡眠データを活用している。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の睡眠リズムを把握することで、入眠への促し方、睡眠が浅い方には日中の活動強度を高める支援を検討するようになった。 ・終末期の方など常時監視が必要な方でも、呼吸や心拍数をリアルタイムに確認することが出来るため、職員に安心感を与えることができた。 ・ベッド上での覚醒時でもアラートを設定できるため、転倒や転落リスクが高い方には非常に効果が高く、当施設でのリスクマネジメントに有効であった 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書（その1）

法人名（さくら福祉事業会）

事業所名（特別養護老人ホームさくらレジデンス）

サービス種別（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日		リースの契約期間
30年11月21日	2	30年 9月 12日		年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症を含む疾患により転倒及び転落リスクの高い方 ・終末期により、常時観察が必要となった方 ・新規入所等で睡眠リズムが把握できない方などを中心に運用を開始。 <p>利用者のケアプラン立案の参考の一つとして、眠りSCANから得られた睡眠データを活用している。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の睡眠リズムを把握することで、入眠への促し方、睡眠が浅い方には日中の活動強度を高める支援を検討するようになった。 ・終末期の方など常時監視が必要な方でも、呼吸や心拍数をリアルタイムに確認することが出来るため、職員に安心感を与えることができた。 ・ベッド上での覚醒時でもアラートを設定できるため、転倒や転落リスクが高い方には非常に効果が高く、当施設でのリスクマネジメントに有効であった 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人東加茂福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム巴の里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り・コミュニケーション		高齢者見守りシステム「見守りライフ」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月18日	8	平成30年9月18日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上の動き（動き出し・起き上がり・端座位）を介護ロボットが判断し、適切なタイミングでナースコールを発報する。 ・入居者に応じて、発報のタイミング（動き出し・起き上がり・端座位）を設定。 ・転倒リスクが高い入居者に使用。 ・職員が少ない時間帯に、従来のセンサーマットよりも早いタイミングでナースコールを発報させるように使用。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の転倒、転落を予防しやすくなった。 ・見守りライフによる見守り対象者以外の入居者の見守りを強化することができた。 ・夜勤時間帯等、対応職員が少ない時間帯にも効率的に業務を行う ・夜間の入居者への過度な干渉を減らし、睡眠環境を改善することができた。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人東加茂福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム石野の里)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り・コミュニケーション		高齢者見守りシステム「見守りライフ」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月18日	2	平成30年9月18日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上の動き（動き出し・起き上がり・端座位）を介護ロボットが判断し、適切なタイミングでナースコールを発報する。 ・入居者に応じて、発報のタイミング（動き出し・起き上がり・端座位）を設定。 ・転倒リスクが高い入居者に使用。 ・職員が少ない時間帯に、従来のセンサーマットよりも早いタイミングでナースコールを発報させるように使用。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の転倒、転落を予防しやすくなった。 ・見守りライフによる見守り対象者以外の入居者の見守りを強化することができた。 ・夜勤時間帯等、対応職員が少ない時間帯にも効率的に業務を行う ・夜間の入居者への過度な干渉を減らし、睡眠環境を改善することができた。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会医療法人財団新和会)

事業所名 (介護老人保健施設さとまち)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りスキャン」 (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成31年3月27日	9台	平成30年11月5日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

平成31年3月27日に施設全館のWifi環境整備工事が終了し、同日より一般棟で5台、認知棟で4台の眠りSCANの使用を開始した。

眠りSCANは何れも夜間覚醒することが多い利用者を対象に設置し、夜間の睡眠状態の把握と、離床センサーとしての活用も視野に入れた導入実験を兼ねて使用を開始した。

【介護ロボットの導入効果】

利用者数に対して導入台数が少ないため、主に夜間良眠されない利用者様を対象として設置した。このため、これらの利用者の睡眠状態についての把握は進み、内1名の利用者様については、日中のどの時間で臥床時間を設けると、夜間の良眠時間が増加するのかの確認が行えた。

現在のところ統計的な分析は行えていないが、当該利用者様については、朝方や昼過ぎなどの時間帯ではなく、夕食後に一度臥床時間を設けることで、夜間の良眠時間が増えることが確認された。

上記以外の利用者様については、夜間覚醒する頻度が高いことがわかり、これらの覚醒時には概ね危険な行動(立ち上がったの移動など)が無いことが分かった反面、覚醒する理由や良眠を促す方法については未だ明らかになっていない。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 西口整形外科)

事業所名 (介護老人保健施設 千音寺)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守り支援システム 「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
31年 10月 31日	8	31年 10月 31日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

特に居室が職員待機の状態や見守りの行き届きにくい場所の居室で常時使用している。
 夜間帯、早朝等職員の見守りが手薄になりやすい時間帯で必要に応じて
 眠り SCAN の離床アラーム機能も使用し、転倒・転落の予防に使用している。
 眠り状況・呼吸状況・体動の状況をデータとして可視化し確認することで夜間等のパット交換
 トイレ誘導等のタイミングを把握し、安眠の確保、職員の効率的な業務に役立てている。

【介護ロボットの導入効果】

入居者様が動かれた際にアラームが鳴る設定を個別ですることにより効率よく見守りが行え、
 転倒や転落の防止に役立っている。

夜間などの睡眠や体動のデータが見れるため、パット交換やトイレ誘導のタイミングを効率
 よく設定できるので、不必要な時間に訪室しなくてもよく業務の効率化が図れている。

呼吸状態、脈拍数もデータで見れるため、体調の変化の早期対応に役立てれるように
 看護部とも共同で情報を確認している。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 西口整形外科)

事業所名 (グループホーム千音寺)

サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守り支援システム 「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
31年 10月 31日	2	31年 10月 31日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

特に居室が職員待機の状態や見守りの行き届きにくい場所の居室で常時使用している。
 夜間帯、早朝等職員の見守りが手薄になりやすい時間帯で必要に応じて
 眠り SCAN の離床アラーム機能も使用し、転倒・転落の予防に使用している。
 眠り状況・呼吸状況・体動の状況をデータとして可視化し確認することで夜間等のパット交換
 トイレ誘導等のタイミングを把握し、安眠の確保、職員の効率的な業務に役立てている。

【介護ロボットの導入効果】

入居者様が動かれた際にアラームが鳴る設定を個別ですることにより効率よく見守りが行え、
 転倒や転落の防止に役立っている。

夜間などの睡眠や体動のデータが見れるため、パット交換やトイレ誘導のタイミングを効率
 よく設定できるので、不必要な時間に訪室しなくてもよく業務の効率化が図れている。

呼吸状態、脈拍数もデータで見れるため、体調の変化の早期対応に役立てれるように
 看護部とも共同で情報を確認している。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人和敬会)

事業所名 (なごみの郷ショートステイ)

サービス種別 (短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成 30 年 12 月 13 日	1 台	平成 30 年 11 月 5 日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>必要度の高い利用者や利用日数の比較的長い利用者に対し使用している。 既に記録関係は ICT 化が完了しており、記録用に使用する ipad やパソコンを使用し、対象者の睡眠状況や覚醒状況を確認している。 その他、一部離床センサーに近い形での活用も可能であることから、睡眠状況の把握に止まらず、センサー機能としても有効活用している。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>ショートステイの場合、在宅からの環境の変化により、寝付けない利用者もいるため、睡眠されている場合には、せっかくの睡眠を妨げることは避けたいことから、睡眠を妨げることのない対応により、安眠を得られたという効果は大きい。過度な居室への訪室が減少したことも睡眠を守る一助になっている。 その他、離床センサーとしての機能も有効活用できていることで、転倒リスクについても軽減することができていると感じる。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書（その1）

法人名（社会福祉法人和敬会）

事業所名（グループホームなごみの郷）

サービス種別（認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 12 月 13 日	2 台	平成 30 年 11 月 5 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>導入ユニットは特定せず、必要度の高い入居者に対し使用している。 パソコンを使用し、対象者の睡眠状況や覚醒状況を確認している。 その他、心拍数、呼吸数、動作状況をリアルタイムで把握し、業務効率化に繋げている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>睡眠、覚醒データを一定期間把握できることで、その方の睡眠リズムを把握することができ、当該ロボットを他の入居者が使用している際にも、ある程度の夜間帯の訪室時間やトイレ介助等の目安を把握することができた。これにより、安眠だけでなく、スタッフの夜間帯業務の効率化という効果があった。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人和敬会)

事業所名 (特別養護老人ホームなごみの郷)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 12 月 13 日	3 台	平成 30 年 11 月 5 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>導入ユニットは特定せず、必要度の高い入居者に対し使用している。 既に記録関係は ICT 化が完了しており、記録用に使用する ipad やパソコンを使用し、対象者の睡眠状況や覚醒状況を確認している。また、看取り期の入居者についても、スタッフの精神的な安心を得られるような活用がされている。 その他、一部離床センサーに近い形での活用も可能であることから、睡眠状況の把握に止まらず、センサー機能としても有効活用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>夜間帯における、定時の体位交換などについて、これまでは入居者の睡眠を妨げることもあったが、導入により睡眠を妨げることのない対応が多くみられるようになり、入居者の安眠に繋がっている。スタッフについても、過度な居室への訪室が減少したという効果もあった。 その他、離床センサーとしての機能も有効活用できていることで、転倒リスクについても軽減することができていると感じる。</p> <p>上記効果により、「安眠を妨げないことによる安心」、「転倒リスクの軽減という安心」、「心拍数や呼吸数をリアルタイムで把握できることで、看取り期の入居者に対する安心」等が得られ、スタッフの精神的な負担軽減効果もあった。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 百陽会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム アルカオーレ岡崎六名)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守りシステム		DreamCare リスクマネジメント&介護スタッフ支援システム(見守りシステム)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成 30 年 9 月 27 日	3 台	平成 30 年 9 月 27 日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ご利用者の各部屋 3 台を設置し、パソコン等で居室の状況を監理する。ご入居者のバイタル反応の異変があった場合に部屋を訪問し、確認をする。 また、前日の睡眠状態についても確認する。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p><バイタル把握機能> ご利用者の各部屋の睡眠状態、起床状態等を把握するすることができ、部屋の訪問、優先順位を即座に決めることができ、効率よく部屋を訪問することができた。 また、画面上で常時の確認できるため、職員の精神的な不安が軽減された。</p> <p><動作お知らせ機能> また設定により動き出した際には通知されるため、転倒の恐れのある方等の見守りに役立つことができている。</p> <p><異常時動画記録機能> ご利用者の異常時に動画で確認ができるため、転倒事故等の対策が立てられようになった。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 八起社)
 事業所名 (特別養護老人ホーム誠和荘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		エスパシアシリーズ3モーター電動ベッド (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年9月30日	8台	30年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>①ナースコールシステムと連動させて、利用者の離床状況を把握している。</p> <p>②下記の症状がある方を対象に、優先して使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼夜逆転の方 ・認知症にてトイレの場所がわからない方 ・歩行不安定のため転倒リスクが高い方 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドの高さを調整することにより、従来のベッドよりさらに低床となり、利用者の転倒・転落のリスク軽減となった。 ・ベッドの高さが調整できるので、職員の腰痛予防につながっている。 ・ナースコールとの連動により、利用者の離床状況の把握ができるため、夜間、職員体制が少ない状況での、職員の心理的負担軽減につながっている。また、家族に、夜間の利用者の離床状況を細かく説明できるようになった。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 八起社)
 事業所名 (誠和荘短期入所生活介護)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		エスパシアシリーズ3モーター電動ベッド (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年9月30日	1台	30年9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>①ナースコールシステムと連動させて、利用者の離床状況を把握している。</p> <p>②下記の症状がある方を対象に、優先して使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼夜逆転の方 ・認知症にてトイレの場所がわからない方 ・歩行不安定のため転倒リスクが高い方 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドの高さを調整することにより、従来のベッドよりさらに低床となり、利用者の転倒・転落のリスク軽減となった。 ・ベッドの高さが調整できるので、職員の腰痛予防につながっている。 ・ナースコールとの連動により、利用者の離床状況の把握ができるため、夜間、職員体制が少ない状況での、職員の心理的負担軽減につながっている。また、家族に、夜間の利用者の離床状況を細かく説明できるようになった。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書（その1）

法人名 （社会福祉法人愛知慈恵会 ）
 事業所名 （特別養護老人ホームあいふるの里）
 サービス種別（介護老人福祉施設 ）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシアシリーズベッド（パラマウントベッド社製） 離床 CATCHⅢ内蔵	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 11 月 16 日	3 台	平成 30 年 11 月 16 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサー内蔵ベッド3台を導入し、2階フロアで2台、3階フロアで1台使用している。 ・ご利用者の転落・転倒事故の防止を目的として、ベッドからの転落の危険性があり、センサー対応かつ低床対応が必要な方、夜間多動傾向にある方を対象に使用している。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来使用していたセンサーとは違い、多少の寝返りでのセンサー反応がなくなったため、ベッド上に座りかけている状態等の明らかに動いている状態で訪室が出来るようになり、誤動作による頻回な訪室が軽減され、職員の負担軽減に効果がありました。 ・内蔵センサーの細かな設定（体格に応じた設定、鳴動時間等）が出来るため、個々に応じた設定で見守りが可能となりました。 ・センサー内蔵ベッドのため、配線が抜けてしまったり、配線を抜いてしまったことによる動作停止の心配が軽減されました。 ・導入後、転落・転倒事故は発生していません。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 共愛会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 豊治共愛の里)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援ベッド (エスパシア3モーター電動ベッド) パラマウントベッド(株) 製	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年12月6日	6台	30年9月6日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・終日トイレ誘導の必要な方や、昼夜逆転傾向にある方、立ち上がりが不安定でベッドから転落や転倒の危険性が高い入所者6名を対象に、常時使用している。
- ・使用方法としては、対象者が
 - ① ベッドから上体を起こした時
 - ② ベッドで端坐位をとった時
 - ③ ベッドから立ち上がった時
 の3つの動作のうち、どれかが確認された際 ナースコールで確認できるよう設定できる。
- ・対象者に合わせて、動き始めのお知らせのタイミングを設定できることで、事故防止や介助のタイミング、毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化を図ることができている。

【介護ロボットの導入効果】

- ・今までのベッド下に設置するセンサーマットとは違い、当該機器からの通知により、対象者の動き始めを知ることができるため、転倒や転落等の事故発生を未然に防ぐことができている。
- ・特に 夜間帯での対象者の行動を把握することができるため、ユニットにおける 夜間従事者の安心感や見守り業務の効率化に効果がでてきている。
- ・ただし、体重が軽い方に対しての反応が鈍いと感じることがある等、サービス担当者会議やユニット会議において、随時 対象者の選定や問題等を話し合い、効果の高い対象者への導入を心掛けている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 福寿園)
 事業所名 (特別養護老人ホーム ひまわり邸)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守りロボット		aams/アアムス		
導入時期	導入台(セット)数	購入日		リースの契約期間
30年10月15日	2台	30年	10月	15日
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>利用者様の急な状態変化（呼吸低下・心拍低下等）や行動変化（離床等）をアラートで知らせてくれ、また、モニターでの確認ができ、その都度職員が対応しています。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>見守りロボットを継続使用していることで、主に認知症疾患のある方の行動に対して迅速に対応できるようになり、転倒・転落のリスクが軽減できました。また、重度の利用者で、呼吸状態の把握が巡視以外でも確認でき、精神的・身体的負担の軽減が図れ、日中、夜間を通し円滑な見守りができるようになってきています。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人開生会)

事業所名 (医療法人開生会老人保健施設ラベンダー)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り介護ロボット aams		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成30年11月30日	10	平成30年11月30日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症等の方で転倒・転落のリスクの高い方 ・医療依存度が高い方 ・看取りケアが必要となった方 ・新規入所者の方(一定期間使用し睡眠状態、生活リズム等を把握) <p>主に上記の方を対象に使用し、分析・検証している。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の急な状態、容態変化がアラート通知されるため、速やかに駆けつけ対処ができ、体調・生活状況の管理強化に繋がっている。 ・看取りの方の呼吸、心拍の変化がモニターによりリアルタイム波形で確認出来るため、看取り体制や心の準備が事前出来るようになり、ケアの質の向上・職員の精神的不安軽減につながっている。 ・データの蓄積が容易になった。(記録作業の簡素化)蓄積したご利用者の睡眠状態、行動パターン、呼吸・心拍等のデータを分析・検証し、事故防止対策、看取りなど支援方法の立案・見直しの一助となり、質の高い個別ケアを効果的・効率的に提供できるようになった。また、ご家族への状況報告時にも情報を「見える化」して活用し情報の共有に繋がっている。 ・従来使用していたセンサーは、ちょっとした体動により反応してしまい、その都度訪室していたが、モニターで起き上がり確認できるようになり不必要な訪室が減少した。訪室の減少により、ご利用者の安眠、職員の見守り業務の負担軽減、ストレス軽減、業務の効率化にも繋がっている。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 おかざき福社会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム かわいの里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウント株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年12月	2台	2018年11月29日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・当該機器を使用し、離床時に転落や転倒の危険性を軽減するために、ベッドから起き上がるが、立位、歩行が安定しない方に対して、常時使用している。
- ・夜間不眠の傾向が顕著な方等の、睡眠と覚醒のリズムをしっかりと把握することが必要な方に使用している。
- ・終末期の利用者に使用し、覚醒状況、心拍数、呼吸数などを頻回な訪室をせずにモニタリングでき、利用者様の安静とスタッフの負担軽減を図っている。

【介護ロボットの導入効果】

- ・モニターでの状態確認ができるようになり、ラウンド業務の軽減だけでなく職員のストレス軽減にも繋がり、安心して仕事をすることができるようになった。
- ・特に夜間は職員数が少なくなるが、介護ロボットを導入したことで転倒リスクの危険性も今まで以上に減少している。
- ・今までのセンサーマットは床設置のものであり、マットに触れなければ反応せずコールがあり居室に向かった際には、既に転倒されていたこともあった。
しかし、起き上がりに対しセンサーが反応するため
今までよりも早く居室に向かうことが可能になり、転倒事故を未然に防げた。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 社会福祉法人 八事福祉会
 事業所名 第二八事苑
 サービス種別 特別養護老人ホーム

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
セキュリティ型ロボット (見守り)		フリスパッド 低床3モーターベッド 見守りケアシステムM2付 FBR-N135 W1/W2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月28日	3台	平成30年11月7日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ご入居者50名中、特にベッド上での体動が顕著なご入居者3名に使用。</p> <p>1 A様 男性 70歳代 要介護3 動作緩慢で、本来一つひとつの動作に見守りが必要だが、四六時中の付添は困難であること。介護拒否もみられ、自らナースコールは使用されない。ベッドからのずり落ちが週に3~4回みられるが、骨折等の大きな介護事故には至っていない。</p> <p>2 B様 女性 90歳代 要介護5 ベッドから起き上がり、端座位までは可能だが、そこから立ち上がろうとして転倒することが多い。</p> <p>3 C様 女性 80歳代 要介護3 ベッド⇔車いす間を自力で移乗しようとされ、床に尻もちをついていることが毎日みられる。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>平成30年11月から平成31年3月までの間の効果。</p> <p>1 ベッド上での体動顕著で頻回にコールが鳴り、その都度、介護職員が駆けつけて介助を行っている。ベッドからのずり落ちは、1回みられたのみで大きな事故に至らず。</p> <p>2 ベッドからの起き上がりは少なく、転倒にも至っていない。</p> <p>3 センサーベッド導入1週間以内に1回、床に尻もちをついているところを発見。以降異常なし。</p> <p>ご入居者の安全と安眠が確保でき、転倒、転落も減少した。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人さわらび会)

事業所名 (特別養護老人ホームさわらび荘)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守りロボット		見守りライフ		
導入時期	導入台(セット)数	購入日		リースの契約期間
平成30年 9月 28日	5	年	月	日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 転倒の危険性が高い方について、1階に2台、2階に3台使用 ・ 状況に応じて、転倒リスクの高い方へ使用を変更している。 				
【介護ロボットの導入効果】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者の転倒によるひやりハット報告70%減少 ・ 転倒による事故発生状況0件 ・ 協力病院以外の病院からの受入(新規、退院)について、入院時の身体拘束廃止実施率100%達成 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 万里の会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム悠々の里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 12 月 17 日	3 台	平成 30 年 12 月 17 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・眠り SCAN を活用することにより、利用者の睡眠状態を把握し、また、睡眠リズムを理解することにより、転倒、転落を削減する。 ・看取り対象利用者に対しては主に夜間帯に睡眠、呼吸、心拍、動作状況をパソコン画面で確認し状態把握に努める。 ・夜間従事者の見守り業務の負担軽減と効率化に努める。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の離床間隔や睡眠状況を把握し、家族への情報提供に役立っている。 ・睡眠の深さ、睡眠時間等のパターンの把握ができ、薬の調整や介護ケアの対応など次のアプローチの材料になる。 ・介護従事者の見守り業務の負担軽減や離床時の訪室など不用意な業務が軽減された。 ・目が覚めているときに介護することで、介護の優先順位付け、入居者の安全、安心、満足度の向上につながる。 ・入居者の生活リズムに合わせてサービスを提供することで、生活習慣の改善を図る。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社ジェネラス)
 事業所名 (看護小規模多機能型居宅介護ゆるり・あ)
 サービス種別 (看護小規模多機能型居宅介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り		パラマウントベッド株式会社製 睡眠管理システム 眠りスキャン		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成30年10月1日	1台	平成30年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで	
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>○施設を初めて利用される方に、夜間就寝時の状況を確認する目的で使用。 →利用者の家族に利用の承諾を得た上、夜間の睡眠・覚醒状況を伝えた。</p> <p>○登録利用者の施設内での宿泊中（ショートステイ時）に使用 →入眠・覚醒状況を2週間にわたって連続して測定・分析することによって、施設利用時の生活全般において配慮すべきことを把握するのにあたり活用した。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>○夜間の就寝状況を、担当するケアマネージャーやご家族等へ報告することにより、ショートステイ利用時以外での生活（自宅等）での就寝時の留意事項の参考として活用できた。</p> <p>○利用者の就寝中の離床状況の要因（自ら起床？or 転倒？など）を確認するのに寄与した。</p> <p>○夜間の職員が就寝中の利用者を巡視する時間の目安にしているなど、負担軽減につながってきている。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム設楽苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】①～④の方それぞれについて使用状況・効果を報告します。</p> <p>①夜間に排泄のためベッドより立ち上がるため転倒のリスクが高く、過去に何度も転倒している方に使用した。端座位でのセンサーを設定した。【「端座位」設定】</p> <p>②カテーテル使用の方。夜間など時間に関係なく起きようとされるため、端座位でのセンサー設定をした。転倒とカテーテル抜去のリスクがある方に使用した。【「端座位」設定】</p> <p>③ベッドから床に降りる行為があるため、ベッド最低床と床にクッション性のマットを敷いている。ケガはないが、過去に何度も床に降りていたことがある。端座位からそのまま滑るように床に降りるため、動き出しでのセンサーを設定した。【「起き上がり0」設定】</p> <p>④パーキンソン病、アルツハイマー型認知症、通常は車いすに移乗して移動しているが、自らベッドから降りて、リビングにて歩いて出ていることがあり、転倒の恐れがあるため使用した。【「起き上がり1」設定】</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>①端座位でのナースコールがあり、立ち上がる前に本人様が靴を履いている間に職員が到着できる。導入後、単独での立ち上がりによる歩行が原因の転倒はない。人感センサーも使用していたが、布団が動くだけでも作動していた。センサーベッド導入後は、端座位が確実に把握できるため、職員の訪室回数が減り、身体的・心理的にも業務負担が軽減された。</p> <p>②確実にナースコールがあるため、職員がすぐに訪室でき、事故を未然に防いでいる。センサーベッド導入後は、端座位が確実に把握できるため、職員の訪室回数が減り、負担は減っている。</p> <p>③導入前はこまめな訪室が必要であったが、動き出しが確実に把握できるようになった。センサーベッド導入後に1度だけすぐに訪室できずに床に降りていたが、その1回のみである。職員の負担も軽減している。</p> <p>④導入後に自らの動き出しが見られず、効果はまだ不明。 (導入時利用していただいた方が長期入院されたため。)</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム岡崎苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ①ナースコールは使用できないが、トイレでの動作はほぼ自立している方に使用。夜間は特に動きが鈍くなり、衣類の着脱に介助が必要。夜間起きられる回数が比較的多い方に使用した。トイレに行く都度付き添いたい、夜間帯は他にも見守りが必要な方がいるため、トイレに起きたことに気付きにくい。車椅子に鈴を付けて、鈴の音が聞こえたら対応するようにしていたが、起きて廊下に出た後音が聞こえるため、車椅子への移乗時に見守ることができず、見守りセンサーベッドを使用した。
- ②知的に障害を有する方、歩行器を使用されており、転倒回数の多い入居者様に就寝時に使用。
- ③夜間ベッドから降りて隣の入居者様のチェスト前に座っていたり、端座位になっていることがあった方に使用した。「端座位」で設定。

【介護ロボットの導入効果】

- ①身体を起こした時にセンサーが反応するため、動きがあった時に速やかに知る事が出来るようになった。センサー反応直後に居室へ行くと、ちょうどベッドに腰かけた頃で、車椅子への移乗介助ができるようになった。トイレを探して廊下を歩くことがなくなり、トイレを済ませてまたすぐにベッドに入ることで、眠気が覚めず、続けて眠ることができるようになった。
- ②起き上がりに反応するようにセッティングしてあるため、夜間、入居者様がトイレに行こうとするたびに反応し、入居者様が一人で立ち上がる前に訪室し、安全に立ち上がれるよう見守りすることが出来た。
- ③設定が端座位のため、長座位では反応しない。動き出すと早い、端座位になるとセンサーが反応して知らせてくれるため、転倒のリスクが軽減した。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム一宮苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転倒リスクの高い利用者様 ・ナースコールを押せない方、転倒の危険性はあるが自分で立ち上がる利用者様 ・できないことでもできると言われたり、転落の恐れがある利用者様 ・歩行車使用で付き添いなく歩行できる利用者様 (夜間のトイレ使用後に、立ち止まりから動けなくなったことがあり、状態把握のため使用した) 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タッチパネルで操作がしやすい。 ・センサー反応で起き上がりが分かるため、何度も起き上がり反応がある時は、臥床してられないと受け止め、離床するタイミングを決定できる。転落は無くなった。(センサーマットでは足がついた時には間に合わず、転落したことがあった。) ・動き出しからの感知が早いため、職員がすぐに対応できる。 ・「立ち上がり」でのセンサー反応：端座位から立ち上がりまでに時間がかかる利用者様については、腰を上げてセンサーが反応するため、タイミングよく対応できた。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム瀬戸苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動き始めからベッド離床までの経過時間が非常に速いため、動きがある際は早急に駆けつける必要がある入居者様。(センサー設定「起き上がり」) ・自分でベッド上で動くことが頻回にある方。その行為は危険ではないが、端座位になった際は立ち上がり行為があり、その動きも速く歩行が不安定な入居者様(センサー設定「端座位」) ・端座位までは自身で安全に行うことができるが、立ち上がり後の歩行が非常に不安定な方。(センサー設定「離床」) 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>導入前は、足元センサーで対応していたが、足元センサーでは入居者様の状況によってはすぐにベッドから落ちちゃってしまってからセンサーが鳴動することがあり、事故をセンサー鳴動により知る状況であった。導入したことにより職員が事前に対応することができ、事故が減少した。職員の心理的な面でも負担軽減に繋がっている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム佐屋苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>立位不安定だったり、夜間頻回にトイレへ起きられる方、転倒・転落リスクの高い利用者様を対象に使用している。また、体調不良時に落ち着きがなく、多動になる方へ、見守りのため使用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサーマットより早い段階でコールが鳴るため、自らベッドを降りようとする利用者の転落防止に繋がっている。間に合わないことが減った。 ・コールが必要以上に鳴ると感じることはあるが、利用者様が居室にいることが確認できて良い。 ・利用者様がベッドの上にいる段階で駆け付けることができるため、職員の移乗介助などの介護負担が軽減された。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム小牧苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】 対象者4名に使用 ・ベッド上での動きあり、転落等の危険がある。 ・車椅子・ベッド間の移乗動作に介助が必要である。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】 ・ベッドの高さが22cmまで低くなるため、転落時の衝撃が少なくなり怪我のリスクが低くなった。(以前導入のセンサー付きベッドの高さは25cmであった) ・ベッドナビに環境設定が可能で、画面の明るさや消灯が調節できる機能があるため、夜間帯にベッドナビの明るさが気にすることなく確認作業が行える。 ・ナースコール中継ユニットに一時停止機能が付いたことで、通知のオン・オフをする手間が省けるようになった。作業的にも効率よく動けるようになった。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム大府苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から	年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ①胃瘻、吸痰と医療的ケアが高く、重症で療養生活中心の利用者様。
機能訓練では、歩行器歩行を行うなど身体機能が高かったが、自力で離床した際には、転倒受診することがあった方に使用した。
- ② (見守りシステム付きベッド) 端座位設定 45～75 kg、タッチセンサー併用
日中は離床しているため、夜間の就寝時のみ使用。
- ③ (見守りセンサー付きベッド) 端座位設定 30～45 kg (後日 45～75 kgへ変更)
日中は離床しているため夜間の就寝時のみ使用。

【介護ロボットの導入効果】

- ①見守りシステム導入後、センサー反応や端座位になっている事はよくあったが、離床、転倒事故は無くなった。
- ②転落、ずり落ち等事故がなくなった。
- ③不穏や夜間の問題行動があるため、導入、導入後にずり落ち等事故は発生していない。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム東郷苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>①車椅子にて自走、立位、移乗は可能だが、自身でのブレーキのかけ忘れによる転倒のリスクがある。はじめは「端坐位」に設定していたが、訪室すると自身で車椅子に移乗していた事があったため、「起き上がり」にて設定して使用した。</p> <p>②車椅子を使用しているが、自身で立ち上り歩行することがある。夜間はセンサーマットを使用していたが、マットがない部分からベッドを降りて廊下を歩いていた事があった。端坐位からの歩き出しがはやいので「起き上がり」にて設定して使用した。</p> <p>③夜間トイレへ起きる回数が多く、起立や立位が不安定で車椅子への移乗も職員の介助が必要な方へ使用した。</p> <p>④時々昼夜逆転してしまい、夜中に起きようとする事がある。また、起立や立位保持が困難である方に使用した。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>①ベッドから起き上がると同時にセンサーが作動する為、利用者様の移乗介助ができるタイミングで訪室でき、事故防止になっている。</p> <p>②導入前はセンサーマットを使用していたが、センサーが反応してから訪室するので、すでに歩き出している事があった。導入後は本人の動きに間に合うように訪室でき、事故防止に繋がった。</p> <p>③職員が他の利用者様の対応している時にセンサーが作動したが、離床キャッチ機能があるため、対応に間に合うことができた。</p> <p>④見守りや介助が必要な利用者様の動きに合わせてセンサーが作動するため、動作前に訪室する事ができ、事故を未然に防ぐことができた。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム豊川苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ベッドからの転落の恐れがある利用者様に、センサーベッドとして使用。 ベッド上にて、端座位になった時に反応するように設定している。 ナースコールを押されない方なので、センサー反応により職員が訪室してトイレ介助等している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>利用者様の動向に合わせて、センサーが反応するタイミングを設定できるためベッドからの転落事故を減らすことが出来た。 センサー反応により、職員が訪室することで、自分でコールを押されない方の要求に対応することが出来ている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム西尾苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>① 以前、畳に布団を敷いていたが、床から車椅子への移乗がご本人や職員にとって負担が大きかった。ベッドの使用を考えた時に、センサーベッドを導入することで、ご本人が動き出す前に訪室できれば事故が防げると考えた。端座位になった時にセンサーが反応するように設定した。</p> <p>② ご本人とのタイミングが合わないと、職員が起床介助に関わるも起きられず、立て続けに起床時の転倒があった。タイミングが合わず起床に関われなかったことが原因。起きるタイミングが分かれば、転倒が防げるのではと考えた。端座位になった時にセンサーが反応するように設定。</p> <p>③ 夜間、ベッド横に車椅子が設置してあってもそれをよけてベッドを伝い歩いていることが何度もあり転倒・転落事故があった。ご本人に移乗の際にナースコールで呼ぶように伝えても、忘れてしまい呼ぶことが出来ずにいた。事前に動きを知ることが出来れば事故防止になると考え、導入した。起き上がりでセンサーが反応するように設定。</p> <p>④ ベッドから車椅子へ乗り損ねて転倒することや車椅子には乗れたがその後トイレに行きトイレの便座に座れず転落することがあり導入した。端座位になった時にセンサーが反応するように設定。</p> <p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>① 起きあがり分かり、立ち上がりや歩き出す前に訪室でき、転倒防止につながったことで、職員も安心することができた。</p> <p>② ご本人の身体機能低下のため、自分で起き上がることは少なくなったが、その分反応した時にはすぐ駆けつけられるようになった。</p> <p>③ 起き上がりや動き出しのタイミングが分かるようになり、事故やケガがなくなった。ベッド導入前には介護職員が思っていたより、自ら車いすへ移っていることが多いことも分かった。 また、他の入居者様の居室で職員が介助をしている時にセンサーが反応し、訪室すると歩いていたことがあり、センサーによって気づくことができた。</p> <p>④ 他の入居者様の居室にいる時(夜間は隣ユニットにいる時)にセンサーが反応し、訪室すると端座位になっていた。トイレに行きたかったようであるが、職員が訪室に間に合ったことで、安全にトイレ介助することができた。導入後は事故やケガがなくなった。また夜間よく目を開けていることが分かり、睡眠状態も知ることが出来た。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。